

平成 23 年 12 月 9 日  
総務省統計局

## 第 51 回統計委員会において出された意見等に対する回答

## ◆ 「A4 非正規雇用に就いた理由」 (労働力調査特定調査票)

・「非正規雇用に就いた理由」の選択肢の「家事・育児・介護等と両立しやすいから」について、「育児」と「介護」が一つの選択肢とされているが、二つに分けることについて検討することが必要。

- ・ 「非正規雇用に就いた理由」の質問は、近年の非正規雇用の拡大の分析に資するために新たに調査する事項であり、その選択肢については、「平成 21 年度統計法施行状況に関する審議結果報告書」の指摘事項を踏まえ、いわゆる「不本意型」が把握ができるようにすることに加え、近年、重要性が高まっているワーク・ライフ・バランス関連の把握のため、育児・介護等との両立関係の選択肢も立てている。
- ・ その他の選択肢については、他の先行調査（平成 22 年就業形態の多様化に関する総合実態調査(厚生労働省)）の結果なども踏まえ、調査票のスペースも勘案しつつ、回答率の高い上位項目を基本的に選定している。
- ・ 以上のように原案の選択肢は立てられており、多様な観点から非正規雇用の実態を捉える形になっている。ここで、「家事・育児・介護等と両立しやすいから」を育児関連と介護関連に分けることについては、スペース的に難しい上、先行調査では「家事・育児・介護等」は他の活動(趣味・学習等)と合わせた形で調査されており、その回答率の程度からみても、育児関連と介護関連に更に分割したとしても、安定的な結果が得られない可能性がある。

(参考) 「就業形態の多様化に関する総合実態調査(平成 22 年)」

(複数回答3つまで)

※・自分の都合のよい時間に働けるから	38.8%
※・家計の補助、学費等を得たいから	33.2%
※・通勤時間が短いから	25.2%
※・家庭の事情(家事・育児・介護等)や他の活動(趣味・学習等)と両立しやすいから	24.5%
※・正社員として働ける会社がなかったから	22.5%
・自分で自由に使えるお金を得たいから	21.4%
※・専門的な資格・技能を活かせるから	18.6%
・勤務時間や労働日数が短いから	15.4%
・簡単な仕事で責任も少ないから	9.9%
・より収入の多い仕事に従事したいから	8.3%
・就業調整(年収の調整や労働時間の調整)をしたいから	4.8%
・組織に縛られたくなかったから	3.7%
・体力的に正社員として働けなかったから	3.2%
・その他	5.9%

注) ※の付いている項目は、今回の労働力調査の見直し案において、同様の選択肢を設けている項目である。